

第3学年 国語科学習指導案

日 時 平成21年9月10日(木) 5校時
児 童 男7名 女5名 計12名
指導者 川村 悦子

- 1 単元名 場面の様子をそうぞうしながら読もう (光村図書 3年下)
教材名 「ちいちゃんのかげおくり」(物語)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、以下の新学習指導要領の領域の目標と内容を具現化する学習内容である。

1 目 標

- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

2 内 容

C 読むこと

- (1)ア 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。

ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

- (1)イ(オ) 表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解すること。

本単元「場面の様子をそうぞうしながら読もう」は、場面の移り変わりが分かり、情景や登場人物の様子・心情について叙述に基づき想像して読み、場面の様子や人物の気持ちが分かるように音読することをねらいとしている。

本教材「ちいちゃんのかげおくり」は、ちいちゃんという幼い子どもを主人公とし、かげおくりという遊びを題材にして書かれた戦争文学である。戦争の悲惨さを直接表現しているわけではないが、読んでいくうちに悲しくなってくる。幼い子どもが、大切な家族を失い、やがて自分の命や未来までも失われてしまったという話だからであろう。

本文は、「〈第一場面〉家族そろってかげおくりをする場面。〈第二場面〉激しい空襲のため、母と兄にはぐれ、ひとりぼっちになる場面。〈第三場面〉ひとりで家の跡で待ち続ける場面。〈第四場面〉ひとりでかげおくりをする場面。〈第五場面〉それから何十年後、子どもたちが幸せそうに遊んでいる場面。」の五つの構成からなっている。特に、ちいちゃんの命が消えようとするとき見た幻想は、「家族一緒のかげおくり」であり、ちいちゃんのたった一つの願いであった。戦争は、大切な物を奪ってしまうが、平和を願う心は、奪うことはできないことを訴えている。また、「それから何十年後」の場面では、平和を永遠に守っていくことの大切さが示されている。

この作品は、父や母、兄との関わりを中心に書かれていることから、戦争を十分に理解できない三年生にとって感情移入しやすい作品である。また、全体的に簡潔な文章で書かれ、会話文はもちろん、体言止めやダッシュ、文末表現により、臨場感や緊迫感を感じながら人物の心情を豊かに想像することができる。これらのことから、本教材は、場面の様子や人物の心情を想像しながら読むことに適した教材である。

(2) 児童について

4月に実施した国語意識調査では、12名中11名が「国語の学習が楽しい」と答えた。また「物語などの読む学習」も同じように12名中11名が「楽しい」と答えており、意欲的に学習に取り組む子ども達である。また、「どんな学習をしたとき書かれていることがよく分かるか。」

という設問では、「音読をしたとき」「気持ちをノートやプリントに書いたとき」「サイドラインを引いたとき」が多かった。このことから、今まで取り組んできた「書く活動」を行うことにより、書かれている内容が分かると実感しているようである。

これまで児童は、「きつつきの商売」で、場面の様子について叙述を基に想像しながら読み、場面の様子や登場人物の様子が聞き手に分かるように音読することを学んだ。また、「三年とうげ」では、場面ごとにその情景や登場人物の気持ちを挿絵や叙述を基に想像し、おもしろさの視点に気を付け、自分の感じたことを本の帯に書くことを学習してきた。

読みとるための書く活動としては、会話文や簡単な行動の文にサイドラインを引き、そこに書き込みをして、書かれている内容を読みとってきた。サイドラインについては、会話文や行動の言葉にだいたい引けるようになってきているが、個別指導が必要な子もいる。書き込みについては、三年生から取り組み始めた。はじめは、何を書いたらよいか分からない状態だったが、書き込んだ内容を交流し合うことで、少しずつではあるが書き込めるようになってきている。また、まとめを自分の言葉で書くことにも取り組み始めた。相手の気持ちを考えたり、自分の考えをもったりすることが苦手な児童が多いので、豊かに文章表現できるようにさせることが課題である。

この単元では、場面の様子や人物の気持ちを叙述に基づいて想像しながら読み、主人公の気持ちを考え、豊かにまとめを書いたり、音読したりする力を養っていききたい。

(3) 指導にあたって

「戦争」をテーマとした初めての教材である。64年前のことなので、当時のことを知っている祖父母も少なく、戦争の話を書くこともできない。そこで、イメージ化しやすいように読み聞かせの時間に関連する図書を読んだり、ビデオを見せたりしていきたい。

つかむ段階では、題名の「ちいちゃん」「かげおくり」の言葉からどんな話か考えさせ、範読をしていく。その際、印象に残ったところにサイドラインを引かせ簡単な感想を書き込ませる。これを基に初発の感想を書かせていく。この感想を発表し合いながら場面ごとに分け、学習課題を作っていきたい。ここの段階で分からない言葉「空襲」「ぼうくうごう」「ぎつのう」「ほしいい」などについて調べる。

この作品は、三つの「かげおくり」が出てくる。家族そろってした初めての「かげおくり」、ちいちゃんとお兄ちゃんと一緒に遊んだ「かげおくり」、そして、ちいちゃんがたった一つの「かげぼうし」を見つめながら数を数える「かげおくり」。それぞれの情景を思い浮かべ、その意味を考えさせるために、第一場面を「一つ目のかげおくり」と「二つ目のかげおくり」の2つに分け、第四場面を「三つ目のかげおくり」と「空色の花畑」に分け、後半と第五場面を一緒に考えていく計画にする。特に、一つ目のかげおくり（現実）と三つ目のかげおくり（幻想）は、対比し違いはどこか読みとらせながら、題名に込める平和の願いを感じとらせたい。また、戦争でちいちゃんが見た空と、「それから何十年後」の「青い空」との違いを対比して読み取り、青い空は、決して当たり前のもではなく、かけがえのない平和のあかしであることを感じとらせたい。場面の様子や気持ちを想像しながら読むために、当時の写真や絵を見せるなどしてイメージ化できるようにさせていきたい。また、幼いちいちゃん目（ちいちゃんの視点）になり気持ちを考えさせていきたい。ちいちゃんが失ったもの・ちいちゃんの願いを考えさせ戦争の悲惨さ、平和を希求する思いを育んでいきたい。

まとめる段階では、自分の心に残った場面を選ばせ、ふかめる段階で読みとった様子や気持ちが相手に伝わる音読にさせ表現力を高めていきたい。そのために強弱や速さを書き込ませ練習をさせていく。また、評価カードを用意し、相手のよかったところを交流できるようにしていきたい。

読みとるための書く活動としては、ここの単元で初めて「様子や気持ちが分かるころ」という指示でサイドラインを引かせる。その際、今まで行ってきた会話文や行動を表す言葉に着目させ引かせていく。書き込みについては、前後の文章にも目を向けさせ、叙述から見えてくるちいちゃんの気持ちを考え書かせる。また、書き込んだ内容を交流し豊かに想像しながら読むことをさせていきたい。まとめを書くところでは、挿絵と吹き出しを用意しそこに書くことでちいちゃんの気持ちになりきり考えることができるようにさせていきたい。書くことの表現力をつける上でも、この教材で言葉を増やしていきたい。

3 単元目標

【関心・意欲・態度】

- ・ 戦争や平和について興味をもち、場面の移り変わりや情景を想像しながら意欲的に読み進めようとする。

【読むこと】

- ・ 場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むことができる。(読(1)ウ)
- ・ 読みとった内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方について違いがあることに気付くことができる。(読(1)オ)
- ・ 書かれている内容の中心や場面がよく分かるように声に出して読むことができる。(読(1)ア)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・ 表現したり理解したりするために必要な語句を増すことができる。(伝(1)イ(ウ))

4 単元指導計画（11時間）

☑️ 読みとるための書く活動

段階	時間	学習活動 (○) と支援の工夫 (・)	評価
第一次 つかかむ	1	「ちいちゃんのかげおくり」を読み、学習の見通しをもつ ○ 題名とリード文から「ちいちゃん」「かげおくり」について考え興味をもつ。 ○ 「ちいちゃんのかげおくり」の教師の範読を聞き、感想をもつ。 ・ 心に残ったところにサイドラインを引き、簡単に感想を書き込ませる。 ☑️ サイドライン・書き込み ○ 初発の感想を書く。 ☑️ ノート・初発の感想	(読) 印象に残ったことを書き込み、それをもとに初発の感想を書いている。 (ノート)
	1	○ 新出漢字を練習する。 ○ 場面ごとに分け、あらすじを確かめ、感想を交流し合う。 ・ 時と場、登場人物を確かめさせる。 ・ 場面ごとの表に感想を簡単に書き込み整理させる。 ○ 分からない言葉を調べる。	(関) 自他の感想がどの場面にあてはまるか、考えている。(発言)
	1	○ 整理した感想を基に、場面ごとに学習課題を作り、学習計画を立てる。	(関) 場面ごとの学習課題を考えている。(発言)
第二次 ふかめる	1	場面の様子を想像しながら読む ○ 家族そろって仲むつまじくかげおくりをする様子や気持ちを叙述を基に想像して読みとる。 ・ 四人の気持ちが分かる文にサイドラインを引かせ、様子や気持ちを書き込ませる。 ☑️ サイドライン・書き込み・ワークシート・課題のまとめ	(読) かげおくりをするそれぞれの気持ちを読みとっている。 (発言・ノート)
	1	○ お兄ちゃんと一緒にかげおくりをする気持ちや戦況の様子を叙述を基に想像して読みとる。 ・ かげおくりの様子にサイドラインを引き、最初のかげおくりとの違いを見付けさせ、かげおくりをしている気持ちを書き込ませる。	(読) お兄ちゃんとするかげおくりの様子と気持ちを読みとっている。 (発言・ノート)

ふ か め る	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦況の様子が分かるところにサイドラインを引かせる。 <p>📖 サイドライン・書き込み・ワークシート・課題のまとめ</p> <p>○ 家族と離れ離れになり、ひとりぼっちになるちいちゃんの様子や気持ちを叙述を基に想像して読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はぐれたちいちゃんの様子や気持ちが分かるところにサイドラインを引かせ、様子や気持ちを書き込ませる。 	(読) 家族と離れ離れになり、ひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちを読みとっている。 〈発言・ノート〉
	1 (本時)	<p>📖 サイドライン・書き込み・ワークシート・課題のまとめ</p> <p>○ 母や兄の帰りを信じて待つちいちゃんの様子や気持ちを叙述を基に想像して読みとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ちいちゃんの様子や気持ちが分かるところにサイドラインを引かせ、様子や気持ちを書き込ませる。 	(読) 母や兄の帰りを信じて待つちいちゃんの気持ちを読みとっている。 〈発言・ノート〉
	1	<p>📖 サイドライン・書き込み・ワークシート・課題のまとめ</p> <p>○ 空からふってくる声を聞きながらひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの様子や気持ちを第一場面のかげおくりと比べながら想像して読みとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かげおくりを対比させ、違うところにサイドラインを引かせ、幻想のかげおくりであることに気付かせる。 	(読) ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの気持ちを読みとっている。 〈発言・ノート〉
	1	<p>📖 サイドライン・書き込み・ワークシート・課題のまとめ</p> <p>○ 空色の花畑で家族に会えたときの様子や気持ち、何十年後の町の様子を叙述を基に想像して読みとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ちいちゃんが家族に会えたときの気持ちが分かるところにサイドラインを引かせ、様子や気持ちを書き込ませる。 ・ 町の様子が分かるところにサイドラインを引かせ、平和について考えさせる。 <p>📖 サイドライン・書き込み・ワークシート・課題のまとめ</p>	(読) 空色の花畑で家族に会えたちいちゃんの気持ちを読みとっている。 〈発言・ノート〉 (関) 小さな女の子の命が消えたことと、平和な町の様子から平和について考えている。〈発言〉
第三 次 ま と め る	1	<h3>音読発表会をする</h3> <p>○ 一番、心に残った場面を選び、音読練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選んだ理由を書かせる。 ・ 読み方を考えさせ、練習させる。 	(関) 心に残った場面を選び、音読の工夫をしようとしている。〈音読〉
	1	<p>○ 音読発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選んだ理由も伝え、音読発表させる。 ・ 評価カードに書き込ませ、感想を交流させる。 	(読) 様子や気持ちが伝わるように音読している。 〈音読〉 (関) 友達の音読のよいところを見付けようとしている。〈発言・カード〉

5 本時の指導

(1) ねらい

焼け落ちた家のあとに残り、母や兄の帰りを待ち続けるちいちゃんの気持ちを想像することができる。

〈読みとるための書く活動〉

- ちいちゃんの気持ちや様子が分かる叙述にサイドラインを引き、そのときの気持ちを想像して書き込む。
- やけ落ちた家のあとに残ったちいちゃんの気持ちを吹き出しに書く。

(2) 具体の評価規準

おおむね満足 (B)	努力を要する児童への支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ 母や兄に会いたいため、帰りを信じて待っているちいちゃんの気持ちを想像している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「深くうなずきました。」「きっと帰ってくるよ。」の書き込みや、赤で書かれている板書に着目させながらちいちゃんの気持ちを考えさせる。

(3) 展開

段階時間	学習活動と予想される児童の反応	支援の工夫 (・) と評価 (◎)
つかむ 5分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お母さん、お兄ちゃんとはぐれてしまっ てちいちゃんはどんな気持ちだったでしょ か。 ・ さびしい ・ こわい ・ お母ちゃんに会いたい。 <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>やけ落ちた家のあとにのこったちい ちゃんの気持ちを考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までの学習内容が想起しやすいよう に掲示を利用する。 ・ ひとりぼっちになったちいちゃんの気持 ちを簡単に振り返り、本時の課題に繋げて いく。
ふか め る	<p>3 課題を追究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町の様子やちいちゃんの気持ちや様子が 分かるところに気を付けて読みましょう。 ・ 個人読み ・ 指名読み ○ 町の様子はどうなりましたか。 ・ すっかりかわった。 ・ あちこち、けむりがのこっている。 ・ どこがうちなのかわからない。 ・ ちいちゃんの家もやけ落ちた。 ○ やけ落ちた家のあとにのこったちい ちゃんの気持ちが分かる所にサイドラインを引 きましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>書く活動 ちいちゃんの気持ちが分かるところにサイドライン引く。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 深くうなずきました。 ・ また、深くうなずきました。 ・ こわれかかったぼうくうごうの中で、 ねむりました。 ・ 「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰 ってくるよ。」 ・ こわれかかったぼうくうごうの中でね むりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題に沿った読みの視点を与え本時の場 面を読ませる。 ・ 様子が分かる写真か絵を見せ、イメージ をつかめるようする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ちいちゃんの行動と会話文に着目させな がら、気持ちが分かるところを見付けさせ る。 ・ 行動は青、会話文は赤の紙板書で提示す る。 	

<p>ふかめる 25分</p>	<p>○ ちいちゃんの気持ちを書き込みましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>書く活動 サイドラインを引いた所に、ちいちゃんの気持ちを書き込む。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 深くうなずきました。 →お母ちゃんは絶対帰ってくる。 ・ また深くうなずきました。 →ひとりでも大丈夫。 ここをはなれたら会えなくなる。 ここで待つんだ。 ・ ぼうくうごうの中でねむりました。 →こわくても、さびしくてもここで待てば、必ず帰ってくる。 ・ 「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。」 →信じているよ。会いたいよ。 ・ ぼうくうごうの中でねむりました。 →早く帰ってきて。 <p>○ 書き込んだことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早く会いたい。 ・ ここを離れたら会えなくなる。 ・ 絶対にお母ちゃんとお兄ちゃんは帰ってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前のおばさんの言葉をヒントにしなが ら、書き込ませる。 ・ 「こわれかかった」「暗い」の言葉から こわい、さびしいなどの気持ちを想像させ たい。 ・ 2人で書き込んだことを交流し合い、付 けたしをさせる。 ・ 「朝」「その夜」「くもった朝・昼・暗い 夜」の時間の経過を押さえさせながら、二 日間待っていることに気付かせる。 ・ 「会いたい」「帰ってくると信じている。」 など大切な言葉や文に赤で書いたり、サイ ドラインを引いたりしながら板書する。
<p>ま と め る 15分</p>	<p>4 本時の学習をまとめる。</p> <p>○ やけ落ちた家のあとにのこったちいちゃん の気持ちを吹き出しに書きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>書く活動 まとめを吹き出しに書く。</p> </div> <p>○ 書いたまとめを発表しましょう。</p> <p>○ みんなが発表したことをまとめます。 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ぜったいお母ちゃんとお兄ちゃんは、帰 ってくる。こわくても、さびしくてもここ でがんばって待つよ。お母ちゃん、お兄ち ゃんに会いたいよう。</p> </div> <p>5 まとめの音読をする。 ○ ちいちゃんの気持ちが伝わるように音 読しましょう。</p> <p>6 次時の予告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書けないでいる子には、赤で書いてある 言葉や文に着目させながら、書けるよう支 援していく。 ◎ 交流したことを生かしながら、やけ落ち た家のあとにのこったちいちゃんの気持 ちを書いている。〈ワークシート、発言〉 ・ 子ども達の発表を生かしながらまとめ る。 ・ サイドラインの引いているところに気を 付けて音読させ、第三次の音読発表会につ なげる。

(4) 板書計画

第三場面 やけあとにのこったちいちゃん
課題

やけ落ちた家のあとにのこったちいちゃんの気持ちを考えよう。

朝

町の様子

- ・すっかりかわっています。
- ・あちこち、けむりがのこっています。
- ・どこがうちなのか―

深くうなずきました。 ↓お母ちゃんたちは、帰ってくる。 会いたいよ。

また深くうなずきました。 ↓ひとりでもだいじようぶ。

「ここで帰りを待つよ。」

その夜

ぼうくう(ぼう)の中でねむりました。 ↓こわい、くらい、さびしい

でも、会いたい、ぜったい帰ってくる。

「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。」

↓帰ってくるとしんじている。

↓「ここで待っていれば、ぜったい会える。」

くもった朝 ↓昼 ↓その夜

ぼうくう(ぼう)の中でねむりました。 ↓はやく、帰ってきて、会いたいよ。

まとめ

ぜったいお母ちゃんとお兄ちゃんは、帰ってくる。こわくても、さびしくてもここでがんばって待つよ。お母ちゃん、お兄ちゃんに会いたいよう。